

愛と芸術に生きて元祖アイドル

松井須磨子祭

2024

1 新作アニメーション

『カチューシャの誕生』上映会

ナレーション: 朱紫令真 (元宝塚歌劇団星組男役、長野市出身)
脚本: 瀬尾 宙、堀川健仁 プロデューサー: 堀川健仁 監督 瀬尾 宙
製作: 一般社団法人松井須磨子協会

YouTube 公開日: 2024年3月26日



松井須磨子協会公式
YouTube チャンネル

2

朗読劇・復活

原作: レフ・トルストイ 翻訳/脚本: 島村抱月 朗読台本/演出: 堀川健仁
カチューシャ: 高橋香緒里 ネフリュードフ: 朱紫令真
シモンソン: 横田 定 ピアノ: 小池真衣 解説: 堀川健仁

3

松井須磨子顕彰講演

後藤隆基 (早稲田大学演劇博物館招聘研究員)
・立教大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)
・専門は近現代日本演劇・文学・文化

4

大正ロマンコンサート

中山晋平が作曲し、松井須磨子が歌唱した『カチューシャの唄』や『ゴンドラの唄』は勿論のこと、『宵待草』、『城ヶ島の雨』、『恋はやさし野辺の花よ』、『故郷』等、美しい日本の名曲を中山晋平の母校・東京藝術大学卒業生がお届けします。

ソプラノ 高橋香緒里 (東京藝術大学音楽学部声楽家卒業)
バリトン 横田 定 (東京藝術大学音楽学部声楽家卒業)
ピアノ 小池真衣 (東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修了)

2024年12月8日SUN.

開演 12時00分 (開場 11時30分)

前売券

※11月7日から申し込んだ先着8名の
新宿区民の方のみ500円引き

5,000円

場所

赤城神社 氏子参集殿 (あかぎホール)

東京都新宿区赤城元町1-10 アクセス: 東京メトロ東西線「神楽坂駅」1b出口から徒歩1分

※赤城神社は文芸協会の前身・坪内逍遙先生が主宰した易風会の活動拠点、『早稲田演劇の聖地(貸席清風亭跡)』です。

出演者

朱紫令真

高橋香緒里

横田 定

小池真衣

堀川健仁 (主催)



ご予約(カンフェティ)

下記リンク、QRコード、フリーダイヤルからご予約下さい。

☎ 0120-240-540

*通話料無料 (受付時間 平日10:00~18:00 ※オペレーター対応)

<https://www.confetti-web.com/sumako2024>



【公式サイト、SNS、YouTube】<https://linktr.ee/sumakomatsui> 【問い合わせ先】matsui.association@gmail.com

主催: 一般社団法人松井須磨子協会 後援: 長野県、新宿区、長野県人会連合会、早稲田大学演劇博物館

朱紫令真 (元宝塚歌劇団星組男役、長野市出身)



長野市出身。2014年に宝塚歌劇団100期生として入団し、星組に配属。男役として数多くの舞台上で活躍し人気を博す。2023年春に退団し、帰郷。「大好きな信州を盛り上げたい」と精力的に活動している。新作アニメーション『カチューシャの誕生』のナレーションを担当し、本記念祭では『朗読劇・復活』のネフリュードフ役として出演決定。

横田 定 (バリトン)



埼玉県東松山出身。高校時代に声楽の道を志し、東京藝術大学音楽学部声楽科に進学し、卒業。現在はソロやアンサンブルでの演奏活動や歌唱指導、合唱指導を行いつつ、受験生やミュージシャンへの音楽理論等の家庭教師を行っている。これまでに、山口由美子、植木桂、今尾滋、直野資、市原多朗、平山初喜の各氏に師事。本記念祭では、『大正ロマンコンサート』のバリトン、及び『朗読劇・復活』のシモンソン役として出演決定。

後藤隆基 (早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

早稲田大学演劇博物館招聘研究員。立教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は近現代日本演劇・文学・文化。著書に『高安月郊研究——明治期京阪演劇の革新者』、『乱歩を探して』、編著に『ロスト・イン・パンデミック—失われた演劇と新たな表現の地平』、『新派 SHIMPA—アヴァンギャルド演劇の水脈』図録、『小劇場演劇とは何か』ほか。

堀川健仁

一般社団法人松井須磨子協会代表理事
『松井須磨子祭2024』主催者



静岡県出身。日本初の歌う女優・松井須磨子養家子孫。
①松井須磨子の功績を讃え、次世代に伝えていきたいという想いと、
②新型コロナ禍で苦しんで来た芸術活動を支援したいという2つの想いから、2022年に活動を開始し、2023年に『一般社団法人松井須磨子協会』を設立。

『松井須磨子祭2024』の主催者・堀川健仁です。『松井須磨子祭2024』は、日本初の歌う女優・松井須磨子(長野市出身、神楽坂で活動)の功績や魅力を多くの方々に知っていただく為のイベントとして開催します。

又、松井須磨子を通じ、長野県と神楽坂に所縁のある芸術の奥深さを世間に発信し、県外で活躍する長野県出身者には、故郷の芸術を知っていただけましたら本望です。

高橋香緒里 (ソプラノ)



北鎌倉女子学園高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第37期生修了。藤原歌劇団準団員、日本オペラ協会準会員。TBS「夏サカス」やテレビ朝日「サマステミュージカルコレクション」に出演。元女性ボーカルグループLuminousメンバー。第65回湘南ひらつか織り姫。これまでに、保永秀樹、平松英子、廣田美穂、早河明子の各氏に師事。本記念祭では、『大正ロマンコンサート』のソプラノ、及び『朗読劇・復活』のカチューシャ役として出演決定。

小池真衣 (ピアノ)



東京藝術大学、同大学院修了。文化庁委託事業にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。現在はソロや伴奏での幅広い演奏活動のほか、後進の指導にもあたる。これまでに、ピアノを尾川久美子、佐野翠、西川秀人、江口玲、関孝弘の各氏に、チェンバロを広沢麻美氏に師事。本記念祭では、『大正ロマンコンサート』及び『朗読劇・復活』のピアニストとして出演決定。

会場は早稲田演劇の聖地
神楽坂の『赤城神社』(貸席清風亭)。
赤城神社境内の西側奥にあった貸席清風亭は、
明治38年(1905)に坪内逍遙が主宰した『易風会』の
活動拠点でした。
易風会には東儀鉄笛・土肥春曙・水口薇陽等が参加し、
雅劇『妹山背山』を上演。易風会は『文芸協会』の
母体となり、後に文芸協会を退所した島村抱月
と松井須磨子は、その頃は既に江戸川橋沿いに
移転していた貸席清風亭を拠点に『芸術座』を立ち上げました。
即ち、赤城神社は易風会、文芸協会、芸術座と続く
『早稲田演劇の聖地』として日本演劇史上、
極めて重要な史跡なのです。



掲載

2023/12/23【信濃毎日新聞朝刊】
「松井須磨子記念館構想」で掲載。

2023/12/30【TBSテレビ】
「まさかの一目一番地
-女性アイドル歌手の元祖は誰?-
に松井須磨子親族として出演。



掲載
ページは
こちら
です